

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	山口 佳世	実務経験		○	
実務内容	ネイルサロンを経営。現在も、ネイリストとして業界での経験を持ち活躍中。 日本ネイリスト協会本部認定講師、ネイルサロン衛生管理士指導員。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材確認 ジェルデザイン実技①	教材説明・グラデーション・フレンチのデザインを学ぶ
2	ジェルデザイン実技②	シールを埋めるやり方・ラインテープの貼り方・タテグラデ・逆フレンチなど様々なデザインを学ぶ
3	スカルプ(クリア)デモ・実技	ジェルスカルプ(クリア)デモ・実技
4	マシーンオフ・プレバ	マシーンオフとプレパレーション実技
5	マシーンオフ+フィルイン+フィルインベースのせ	マシーンオフ+フィルイン+フィルインベースのせ実技
6	中級検定実技①	中級検定内容を学び技術をマスターする
7	中級検定実技②	中級検定内容を学び技術をマスターする

8	中級検定実技③	中級検定内容を学び技術をマスターする
9	ジェル上級説明、チップオーバーレイデモ実技	上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモ実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ
10	ジェルチップオーバーレイ実技	上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモ実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ
11	ジェルアート実技①	上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする
12	ジェルアート実技②	上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技練習	筆記テスト・実技練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	山口 佳世	実務経験		○	
実務内容	ネイルサロンを経営。現在も、ネイリストとして業界での経験を持ち活躍中。 日本ネイリスト協会本部認定講師、ネイルサロン衛生管理士指導員。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ジェルスカルプ実技	クリア・フレンチのジェルスカルプ実技
2	ジェルスカルプ・チップオーバーレイ実技	クリア・フレンチのジェルスカルプとジェルチップオーバーレイ実技
3	ジェルスカルプ実技(相モデル)	ジェルスカルプ実技(相モデル)
4	上級検定実技①	ジェルネイル検定上級実技
5	上級検定実技②	ジェルネイル検定上級実技
6	上級検定実技③	ジェルネイル検定上級実技タイムトライアル
7	上級検定実技④	ジェルネイル検定上級実技タイムトライアル

8	デザインジェル・実技①	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技
9	デザインジェル・実技②	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技
10	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン①	様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技
11	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン②	様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技
12	ジェル実技(10本)相モデル①	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う
13	ジェル実技(10本)相モデル② 筆記テスト	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う
14	後期実技試験 (上級検定内容)	総復習として実技試験を行なう
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる				
到達目標	コンテスト入賞				
評価基準	授業態度20％・実技テスト80％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石塚 美幸	実務経験		○	
実務内容	ネイルサロンを経営。現在も、ネイリストとして業界での経験を持ち活躍中。 日本ネイリスト協会本部認定講師、ネイルサロン衛生管理士指導員。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	コンテスト予定確認 モデル選びについて	今後のコンテスト予定を確認し目標を立てさせ技術向上を意識付けする モデル選びの重要性、サロンワークや検定とのコンテストの違いを理解する
2	ケア・カラー①	ジュニア・スチューデントケアの練習
3	ケア・カラー②	ジュニア・スチューデントケアの練習
4	ケア・カラー③	ジュニア・スチューデントケアの練習
5	ケア・カラー④ 実技テスト	ジュニア・スチューデントケア 実技テスト
6	アート①	チップ作成によるアート
7	アート②	チップ作成によるアート
8	アート④	チップ作成によるアート

9	アート④ 作品提出	チップ作成によるアート 作品提出
10	スカルプチュア①	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
11	スカルプチュア②	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
12	スカルプチュア③	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
13	スカルプチュア④	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
14	スカルプチュア④ 実技テスト	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ 実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる				
到達目標	コンテスト入賞				
評価基準	授業態度20%・実技テスト80%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石塚 美幸	実務経験		○	
実務内容	ネイルサロンを経営。現在も、ネイリストとして業界での経験を持ち活躍中。 日本ネイリスト協会本部認定講師、ネイルサロン衛生管理士指導員。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ケア・カラー①	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技
2	ケア・カラー②	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技
3	ケア・カラー③ 実技テスト	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技テスト
4	ジェル①	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
5	ジェル②	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
6	ジェル③	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
7	ジェル④ 実技テスト	ジェル部門実技テスト、または作品提出
8	アート①	チップ作成またはデザインイクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技

9	アート②	チップ作成またはデザインイクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技
10	アート③ 作品提出	アート部門実技作品提出
11	スカルプチュア①	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
12	スカルプチュア②	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
13	スカルプチュア③	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
14	スカルプチュア④ 実技テスト	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケアⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	トリートメント・フットやマシーン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、更なる技術向上を目指し実践する				
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことができる				
評価基準	授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	山口 佳世	実務経験		○	
実務内容	ネイルサロンを経営。現在も、ネイリストとして業界での経験を持ち活躍中。 日本ネイリスト協会本部認定講師、ネイルサロン衛生管理士指導員。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次復習	これまでの振り返りと2級検定振り返り
2	ハンドケア トリートメント理論	マシーンを使用するのケア方法とトリートメントについて学ぶ
3	フットケア①	メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー
4	フットケア②	メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー
5	フットケア③	ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー
6	フットケア④	ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー
7	ハンドケア⑤	ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー
8	ハンドケア⑥	ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー

9	ケア、カラー	ラウンドの練習 色々なカラーリングの練習
10	ハンドケア(マシーン) カラー①	ネイルマシーンを使用したケアと色々なカラーリングの練習。アート練習。
11	ハンドケア(マシーン) カラー②	ネイルマシーンを使用したケアと色々なカラーリングの練習。アート練習。
12	実技テスト	実技テスト ハンドケア・マシーン
13	実技テスト	実技テスト ハンドケア・マシーン
14	筆記テスト	筆記テスト ケア・カラー
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケアⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケアⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式	出版社	NPO法人日本ネイリスト協会		

科目の基礎情報②

授業のねらい	トリートメント・フットやマシーン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、 更なる技術向上を目指し実践する				
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことが出来る				
評価基準	授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	山口 佳世 他	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンを経営。現在も、ネイリストとして業界での経験を持ち活躍中。 日本ネイリスト協会本部認定講師、ネイルサロン衛生管理士指導員。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ケア、カラー①	マシンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
2	ケア、カラー②	マシンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
3	ケア、カラー③	マシンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
4	フットケア・トリートメント・ジェル①	ジェルを取り入れたフットケア(メタルプッシャー)を学ぶ
5	フットケア・トリートメント・ジェル②	ジェルを取り入れたフットケア(メタルプッシャー)を学ぶ
6	フットケア(マシン) トリートメント・ジェル①	ジェルを取り入れたフットケア(ネイルマシン)を学ぶ
7	フットケア(マシン) トリートメント・ジェル②	ジェルを取り入れたフットケア(ネイルマシン)を学ぶ
8	フットケア(マシン) トリートメント・ジェル③	ジェルを取り入れたフットケア(ネイルマシン)を学ぶ

9	フットケア(マシーン) トリートメント・ジェル④	ジェルを取り入れたフットケア(ネイルマシン)を学ぶ
10	フットケア(マシーン) マシーンオフ①	ネイルマシンを使用したフットジェルのマシーンオフ
11	フットケア(マシーン) マシーンオフ②	ネイルマシンを使用したフットジェルのマシーンオフ
12	実技試験①	実技試験 フットケア・トリートメント・ジェル
13	実技試験②	実技試験 フットケア・トリートメント・ジェル
14	筆記テスト	筆記テスト ハンドケア(マシーン)・トリートメント・カラー
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアートⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する				
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にもお答え出来、提供できる				
評価基準	作品提出90%・授業態度他10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	前園 奈美	実務経験		○	
実務内容	ネイルサロンを経営。現在も、ネイリストとして業界での経験を持ち活躍中。 日本ネイリスト協会本部認定講師、ネイルサロン衛生管理士指導員。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 作品紹介 2級検定実技	1年間の授業の流れ作品紹介 コンテスト作品を仕上げるコツ等を学ぶ 2級アート実技練習
2	エンボスアート基礎	エンボスアート基礎 ミクスチュアの取り方、ハートなど
3	エンボスアート①	エンボスの基本的な花やモチーフの実技
4	エンボスアート②	エンボスの基本的な花やモチーフの実技
5	3Dアート基礎	3Dの基本的な花やモチーフの実技
6	3Dアート応用	3Dアート応用の花やモチーフの実技
7	3Dアート(検定用)	検定用3Dアートに実技
8	エアブラシ基礎	ライン・ドット等シート練習 組立・掃除等のメンテナンスを覚える

9	エアブラシ応用①	ライン・ドット・ステンシルなどを使用したシート練習
10	エアブラシ応用②	ライン・ドット・ステンシルなどを使用したシート練習
11	ミックスメディアアート①	フラット・エンボス・3Dの技法を取り入れたアート作品を作る
12	ミックスメディアアート②	フラット・エンボス・3Dの技法を取り入れたアート作品を作る 作品提出
13	検定用アート①	1級検定アートのタイムトライアル
14	検定用アート②	1級検定アートのタイムトライアル 作品提出
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアートⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する				
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にもお答え出来、提供できる				
評価基準	作品提出90％・授業態度他10％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	前 園 奈 美	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンを経営。現在も、ネイリストとして業界での経験を持ち活躍中。 日本ネイリスト協会本部認定講師、ネイルサロン衛生管理士指導員。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	検定用アート①	1級検定アートの実技
2	検定用アート③ タイムトライアル	1級検定アートのタイムトライアル
3	検定用アート② タイムトライアル	1級検定アートのタイムトライアル 作品提出
4	デザインスカルプチュア① デモ・実技	デザインスカルプチュアを学び習得する
5	デザインスカルプチュア②	デザインスカルプチュアを学び習得する
6	トレンドアート①	トレンドのネイルアートの技術を学ぶ
7	トレンドアート②	トレンドのネイルアートの技術を学ぶ
8	作品制作①	テーマと技法(エアー・フラットなど)を決めて作品を制作する

9	作品制作②	テーマと技法(エアール・フラットなど)を決めて作品を制作する 作品提出
10	タイムトライアル	サロンワークに対応するアートのタイムトライアル
11	卒業制作①	2年間の総復習
12	卒業制作②	2年間の総復習
13	卒業制作③	2年間の総復習
14	卒業制作④	2年間の総復習 作品提出
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワーク I - G		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワーク I - G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ケースで学ぶ理美容業の接客マナー(教員用のみ) 関連科目の使用教材一式		出版社	早稲田教育出版 他	

科目の基礎情報②

授業のねらい	① マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う力、現場力を身につける ②「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けて実践することができる ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	テスト・小テスト:60% 授業態度:10% 提出物:20% レポート:10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	エステティックカウンセリングⅢ、アロマセラピー総論Ⅱ、フェイシャル&ボディⅡ ネイルケア&ネイルアートⅡ、パーソナルヘア&メイクⅡ、ヨガ・ピラティスⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	原田 茉奈 他2名	実務経験	○		
実務内容	エステサロンやクリニックにてエステティシャン・カウンセラーとして勤務経験有。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ ・BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通ず人を魅了することへの表現力を身につける
2	1年次復習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習	
7	サロンワーク技術練習	
8	サロンワーク技術練習	

9	サロンワーク技術練習	<p>様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする</p> <p>・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ</p> <p>・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ</p> <p>・BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通ず人を魅了することへの表現力を身につける</p>
10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	振り返り	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡーG		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡーG		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ケースで学ぶ理美容業の接客マナー(教員用のみ) 関連科目の使用教材一式		出版社	早稲田教育出版 他	

科目の基礎情報②

授業のねらい	① マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う力、現場力を身につける ② 「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	① 現場実践を積み、接客力を身に付けて実践することができる ② 日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	テスト・小テスト:60% 授業態度:10% 提出物:20% レポート:10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	エステティックカウンセリングⅢ、アロマセラピー総論Ⅱ、フェイシャル&ボディⅡ ネイルケア&ネイルアートⅡ、パーソナルヘア&メイクⅡ、ヨガ・ピラティスⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	原田 茉奈 他2名	実務経験	○		
実務内容	エステサロンやクリニックにてエステティシャン・カウンセラーとして勤務経験有。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
2	サロンワーク技術練習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習	
7	サロンワーク技術練習	
8	サロンワーク技術練習	

9	サロンワーク技術練習	<p>・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする</p> <p>・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ</p> <p>・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ</p>
10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	振り返り	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ-G		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅡ-G		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ-Ⅲ ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	日本エステティック協会 アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ。				
到達目標	ナチュラルビューティースタylist検定合格レベル(任意)				
評価基準	筆記試験60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ナチュラルビューティースタylist検定(任意)				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・アロマセラピー総論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	宮本 清子 他1名	実務経験	○		
実務内容	リフレクソロジーやアロマセラピーメインのリラクゼーションサロンで勤務後、エステサロンでエステティシャンとして勤務。 又、エステ関連会社のインストラクターとしてサロン様対象にエステ機器の指導を行う。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年振り返り	1年振り返り
2	ナチュラルビューティーに生きる	植物の力のひみつ・自分の心と体を知る・あなたのタイプをチェック
3	カラダの仕組みを知る 1	ストレスとは・ホメオスタシスとは・内分泌系の役割
4	カラダの仕組みを知る 2	ライフステージ別カラダの変化・免疫系
5	カラダの内側から整える Lesson1 カラダをつくる食事	カラダをつくる食事
6		バランスのいい食事とは・旬の食材はなぜカラダにいいのか
7		腸を整えよう
8		カラダをあたためよう・腸活と温活

9		
10	カラダの内側から整える Lesson1 カラダをつくる食事	食事とアンチエイジング
11		オイルとエイジングケア・レシピ紹介
12		テスト 成績評価①
13	カラダの内側から整える Lesson2 カラダを休める睡眠	睡眠の役割・睡眠のメカニズム
14		質のよい睡眠の条件 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅢ-G		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅢ-G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ-Ⅲ ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	日本エステティック協会 アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ。				
到達目標	ナチュラルビューティースタylist検定合格レベル(任意)				
評価基準	筆記試験60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ナチュラルビューティースタylist検定(任意)				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・アロマセラピー総論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	宮本 清子 他1名	実務経験		○	
実務内容	リフレクソロジーやアロマセラピーメインのリラクゼーションサロンで勤務後、エステサロンでエステティシャンとして勤務。 又、エステ関連会社のインストラクターとしてサロン様対象にエステ機器の指導を行う。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	カラダの内側から整える Lesson3 カラダを巡らせる運動	カラダを動かすことのメリット・カラダの循環を知る
2		運動実践(朝のストレッチ・夜のストレッチ・筋肉トレーニング)
3	カラダの内側から整える Lesson4 ココロの疲れをリセット	ココロの疲れとは？ストレスと上手に付き合うには
4	カラダの外側から整える Lesson1 正しいスキンケアで美肌をつくる	ココロとカラダの状態が現れる肌(乾燥・紫外線・酸化糖化)
5		肌トラブル別お手入れ方法(ニキビ・しわたるみ・くすみ・クマ・毛穴)
6		美しいカラダを保つためのボディケア
7		スキンケアのための植物・ナチュラルコスメを使ってみよう
8		

9	総合まとめ	成績評価①
10	カラダの外側から整える Lesson2	美しく健康な髪・髪と頭皮のメカニズム・健康な髪をつくる生活習慣
11	ヘアケアで美しい髪	
12	毎日の心がけで ナチュラルビューティー	Lesson1 正しい呼吸法 理論・実践
13		Lesson2 五感に心地よいライフスタイル
14	総合まとめ	ナチュラルビューティースタイリスト検定 模試 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマセラピー II-G		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマセラピー II-G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト 1級 ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマセラピー検定対策 アロマセラピー I で学んだ知識の総復習と生活への応用				
到達目標	アロマセラピーにを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級合格レベル				
評価基準	筆記試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	フェイシャル&ボディII・サロンワーク・エステティックカウンセリングIII				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	淀川 千恵美 他2名	実務経験		○	
実務内容	エステティックサロンに勤務後、美容インストラクター、アロマセラピストを経て講師として勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年の振り返り	振り返り
2	検定対策 第1章～2章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール(サイプレス・ジャーマンカモミール)
3	検定対策 第3章～4章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール(ジャスミン・パチュリ)
4	検定対策 第5章～6章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール(ブラックペッパー・ペチパー)
5	検定対策 第7～8章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール(ベンゾイン・ミルラ)
6	検定対策 第7～8章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール(メリッサ・ローズオットー)
7	総合まとめ	成績評価① アロマ検定プレテスト
8	精油紹介①	トリートメント用 ブレンドオイル作り

9	精油紹介②	シアバタークリーム作り(バーム)
10		
11	精油紹介③	ハンガリアンウォーター・化粧水作り(もしくはクレイパック)
12		
13	精油紹介④・総合まとめ	手作りせっけん・石けん素地・成績評価②
14		
15	総合授業	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマセラピーⅢ－G		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマセラピーⅢ－G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト 1級 ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマセラピー検定対策 アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用				
到達目標	アロマセラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級合格レベル				
評価基準	筆記試験60%/小テスト10%/授業態度、提出物など10%/アロマ検定1級合格20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	淀川 千恵美 他2名	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンに勤務後、美容インストラクター、アロマセラピストを経て講師として勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	精油紹介⑤	オリエンテーション 練香水作り
2		練香水作り
3	アロマ1級試験復習 模擬試験	成績評価①
4	ナチュラルビューティーに関わる植物	覚えておきたい植物の有効成分 植物(アサイー・ウコン・温州みかん)
5		植物(エルダーフラワー・甘草・クコ)
6		植物(クローブ・月桃・ごぼう)
7		植物(サフラン・しょうが・すぎな)
8		植物(セージ・タイム・チャ)

9		植物(朝鮮人参・月見草・ナツメグ)
10	ナチュラルビューティーに関わる植物	植物(ペパーミント・ホーリーバジル・ゆず)
11		植物(よもぎ・レモンバーベナ・ローズヒップ)
12		総合復習
13		筆記試験
14	模擬試験	模擬試験 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャル&ボディⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャル&ボディⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・クリエヌ化粧品セット タオル類・消耗品類・筆記用具・ボディ化粧品		出版社	日本エステティック協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。				
到達目標	技術力確認試験 合格レベル				
評価基準	実技試60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン・認定ボディエステティシャン				
関連科目	カウンセリングⅢ・フェイシャル&ボディⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐々木 史 他2名	実務経験	○		
実務内容	トラブル肌専門エステサロンのエステティシャンとして17年間勤務。外面内面美容をサポートするテクニカルチーフとして新人教育も担当。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	フェイシャル&ボディⅡ オリエンテーション	フェイシャルエステティック 化粧品使用方法と説明
2	フェイシャル技術理論(皮膚学) カウンセリング	トリートメントの目的・皮膚の構造 カウンセリング・コンサルテーションシートの記入方法
3	ディーブクレンジング復習	粒子あり・なし・酵素 手順復習
4	ディーブクレンジング 吸引	スチーマーの使用法・キッシング手順 理論含む
5	クレンジング～キッシング	クレンジング～キッシング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
6	ディーブクレンジング ブラシ	ブラシの使用法 デモ・相モデル 理論含む
7	クレンジング～ブラシ	クレンジング～ブラシ～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
8	総合技術 吸引・ブラシ	成績評価①

9	ディープクレンジング 電気	イオンクレンジングもしくはディスインクラステーション 理論含む
10	クレンジング～電気	クレンジング～イオンクレンジング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
11	ディープクレンジング総合 コンサルテーションシート	総合復習 カウンセリングを実施し合ったものを提供
12		成績評価② 全体を総合し、肌にあった内容を提供できること
13	フェイシャルマスク	デモンストレーション・手技・拭き取り
14	クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック	クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック 通し
15	総合技術	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャル&ボディⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャル&ボディⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・クリエヌ化粧品セット エッセンシャルオイルセット		出版社	日本エステティック協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。				
到達目標	技術力確認試験 合格レベル				
評価基準	実技試60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン・認定ボディエステティシャン				
関連科目	カウンセリングⅢ・フェイシャル&ボディⅠ・アロマセラピー総論Ⅱ・生理学解剖学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐々木 史 他2名	実務経験		○	
実務内容	トラブル肌専門エステサロンのエステティシャンとして17年間勤務。外面内面美容をサポートするテクニカルチーフとして新人教育も担当。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ボディ技術理論(生理解剖学) カウンセリング	トリートメントの目的・人体の構造 カウンセリング・コンサルテーションシートの記入方法
2	マッサージ復習 コンサルテーションシート	下肢後面・腰背部・腹部 手順確認・拭き取り
3		復習
4		デモスト・手技・拭き取り
5	下肢前面	相モデル練習
6		成績評価①
7	上肢・デコルテ～頭部	上肢・デコルテ・頸部・頭部 デモスト・手技・拭き取り
8		通し練習

9	アロマテラピーのある暮らし精油のプロフィール	香りのイメージ 安全の為の注意/イランイラン
10	アロマトリートメント(全身)	精油とは/精油のもととなる植物の芳香物質/精油製造方法 オレンジ・スイート、ジュニパーベリー
11		芳香浴法・沐浴法・吸入法/精油が心身に作用する経路 ゼラニウム、ティートリー
12		全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする
13		全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする
14		成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケア&ネイルアートI-G		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア&ネイルアートI-G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、JNEC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する				
到達目標	基礎技術に加えてJNEC2級取得レベルとサロンで通用する技術ができる				
評価基準	前期:授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40% 後期:アート作品30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	検定対策&ジェル				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高柳 圭子	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンを経営。現在も、ネイリストとして業界での経験を持ち活躍中。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ネイルケア・パラフィン ・ハンドトリートメント	ハンドトリートメントと共にパラフィンパックを学ぶ
2	ネイルケア・パラフィン ・ハンドトリートメント	ハンドトリートメントと共にパラフィンパックを学ぶ
3	ネイルケア・カラー・アート	サロンで接客の出来るケア・カラー・アートを習得する
4	ネイルケア・カラー・アート	サロンで接客の出来るケア・カラー・アートを習得する
5	2級ケア・アート練習	2級検定合格へ向けてのケア・アートを習得する
6	チップラップ実技	チップラップ実技
7	チップラップ実技	チップラップ実技
8	2級実技タイムトライアル	タイム取りをして検定実技の練習を行う

9	2級実技タイムトライアル	タイム取りをして検定実技の練習を行う
10	ペディキュア・フットリートメント講義デモ	フットケアを学ぶ
11	ペディキュア	フットケアを学ぶ
12	ペディキュア	フットケアを学ぶ
13	実技試験	実技試験
14	実技試験 筆記テスト	実技試験 筆記試験
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケア&ネイルアートⅡ-G		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア&ネイルアートⅡ-G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、JNEC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する				
到達目標	基礎技術に加えてJNEC2級取得レベルとサロンで通用する技術ができる				
評価基準	前期:授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40% 後期:アート作品30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	検定対策&ジェル				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高柳 圭子	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンを経営。現在も、ネイリストとして業界での経験を持ち活躍中。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期複習	1年次・2年次前期に学んできた事を復習をする
2	2級検定練習	2級検定へ向けての総仕上げ練習
3	2級検定練習	2級検定へ向けての総仕上げ練習
4	教材の説明エンボスアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
5	エンボスアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
6	3Dアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
7	エンボスアート 3Dアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
8	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う

9	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う
10	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う
11	実技試験	実技試験
12	筆記試験	筆記試験
13	卒業制作	チップを使用したのアート作品を制作
14	卒業制作	チップを使用したのアート作品を制作
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&ジェル I		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&ジェル I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る				
到達目標	JNAジェル検定初級の合格し、サロンで通用する技術を身に付ける				
評価基準	前期:ジェル初級検定結果30%・宿題/授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30% 後期:宿題/授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	山口 佳世	実務経験		○	
実務内容	ネイルサロンを経営。現在も、ネイリストとして業界での経験を持ち活躍中。 日本ネイリスト協会本部認定講師、ネイルサロン衛生管理士指導員。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ジェル教材の名称及び説明・ジェルシステム講義・カラーとオフのデモ	教材説明・ジェルシステム講義・UVライト(LED)で硬化するジェルシステムを学ぶ・クリアとカラーの塗布～オフまでデモンストレーション
2	初級検定説明・デモ	初級検定説明・デモ
3	クリアカラー実技	ジェルネイルの基本的な技術を学ぶ
4	ジェル初級検定実技①	初級検定内容を学び・技術を学ぶ
5	ジェル初級検定実技②	ジェル初級検定実技
6	ジェル初級検定実技③	ジェル初級検定実技
7	ジェル初級検定実技④	タイム取りをして検定実技の練習を行う
8	ジェル初級検定実技⑤	タイム取りをして検定実技の練習を行う

9	実技テスト①	実技テスト
10	実技テスト② 筆記テスト	実技テスト 筆記テスト
11	JNEC2級検定実技①	ファイリングやニッパーのハンドリングを改めて見直し、基礎的技術の強化を行う
12	JNEC2級検定実技②	2級検定の実技の練習を繰り返し行う
13	JNEC2級検定実技③	2級検定の実技の練習を繰り返し行う
14	JNEC2級検定実技④	2級検定の実技の練習を繰り返し行う
15	総合授業	これまでの総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&ジェルⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&ジェルⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る				
到達目標	JNAジェル検定初級の合格し、サロンで通用する技術を身に付ける				
評価基準	前期:ジェル初級検定結果30%・宿題/授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30% 後期:宿題/授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	山口 佳世	実務経験		○	
実務内容	ネイルサロンを経営。現在も、ネイリストとして業界での経験を持ち活躍中。 日本ネイリスト協会本部認定講師、ネイルサロン衛生管理士指導員。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期複習	1年次・2年次前期に学んできた事を復習し、練習を繰り返し技術向上を目指す
2	JNEC2級検定実技①	タイム取りをして検定実技の練習を行う
3	JNEC2級検定実技②	タイム取りをして検定実技の練習を行う
4	筆記テスト JNEC2級検定実技③	筆記テスト タイム取りをして検定実技の練習を行う
5	JNEC2級検定実技④	タイム取りをして検定実技の練習を行う
6	ジェルネイル①	フレンチ・グラデーションデモ・実技
7	ジェルネイル②	フレンチ・グラデーション・実技
8	ジェルネイル③	フレンチ・グラデーション実技

9	ジェルネイル④	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ ジェルオフ デモ・実技
10	ジェルネイル⑤	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ 実技
11	ジェルネイル⑥	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ 実技
12	ジェルネイル⑦	ジェルアート
13	実技テスト	実技テスト
14	実技テスト	実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パーソナルヘア&メイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルヘア&メイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	赤星 美妃 他1名	実務経験		○	
実務内容	化粧品販売企業で美容部員として勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカーラーなど)/振り返り
2	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
3	夜会巻①	夜会巻(導入・練習)
4	夜会巻②	夜会巻(練習)
5	夜会巻③	本夜会(導入・練習)
6	夜会巻⑤	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)
7	和装・洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
8	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
9	和装・洋装スタイル③	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成

10	和装・洋装スタイル④	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
11	和装・洋装スタイル⑤	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
12	和装・洋装スタイル⑥	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
13	和装・洋装スタイル⑦	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
14	和装・洋装スタイル⑧	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パーソナルヘア&メイクⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルヘア&メイクⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	トータルメイクⅠ、トータルメイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	赤星 美妃 他1名	実務経験		○	
実務内容	化粧品販売企業で美容部員として勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	和装・洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
2	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
3	和装・洋装スタイル③	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
4	和装・洋装スタイル④	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
5	和装・洋装スタイル⑤	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
6	和装・洋装スタイル⑥	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
7	和装・洋装スタイル⑦	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
8	和装・洋装スタイル⑧	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
9	和装・洋装スタイル⑨	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成

10	和装・洋装スタイル⑩	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
11	和装・洋装スタイル⑪	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
12	卒業制作①	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
13	卒業制作②	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
14	卒業制作③	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	トータルメイク I		
必修選択	選択	(学則表記)	トータルメイク I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス(デジタルテキスト)		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス(任意受験)				
関連科目	パーソナルヘア&メイク II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	赤星 美妃 他1名	実務経験		○	
実務内容	化粧品販売企業で美容部員として勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/練習①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習
2	プロポーション、錯覚	プロポーション、錯覚(導入、実践)
3	色とトーン	色の持つイメージ・トーンを持つイメージを理解し、各色が持つイメージワードを考え、組み合わせることで、メイクの幅が広がることを理解する。
4	カラーマップに沿ったメイク 質感①	カラーマップの見方を理解し、前回学んだ事を踏まえ相モデルでモデルに合ったメイクを実践。また、質感の特徴も理解する
5	カラーマップに沿ったメイク 質感②	カラーマップの見方を理解し、前回学んだ事を踏まえ相モデルでモデルに合ったメイクを実践。また、質感の特徴も理解する
6	パーソナルメイクアップ①	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践
7	パーソナルメイクアップ②	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践
8	スチールメイク①	作品作りに必要なテクニックを理解させ、スチールメイクに必要なベースづくりや色の出し方をマスターする。
9	スチールメイク②	SNSや雑誌等を活用してスチールメイクをする

10	スチールメイク③	SNSや雑誌等を活用してスチールメイクをする
11	フォトコンテスト対策①	テーマに合わせたデザイン画の作成、フルメイク練習
12	フォトコンテスト対策②	フルメイク(テスト、振り返り)
13	フォトコンテスト対策③	作品制作撮影
14	フォトコンテスト対策④	作品制作撮影
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	トータルメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	トータルメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス(デジタルテキスト)		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス(任意受験)				
関連科目	パーソナルヘア&メイクⅡ、パーソナルヘア&メイクⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	赤星 美妃他1名	実務経験		○	
実務内容	化粧品販売企業で美容部員として勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イメージチェンジ①	イメージチェンジ(実践)
2	イメージチェンジ②	イメージチェンジ(実践)
3	イメージチェンジ③	イメージチェンジ(実践)
4	パーティーメイク①	パーティースタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
5	パーティーメイク②	パーティースタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
6	成人式メイク①	成人式スタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
7	成人式メイク②	成人式スタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
8	クイックチェンジメイク①	ワンポイントチェンジで人の印象を変える
9	クイックチェンジメイク②	前回の内容を活かし、どこをチェンジしてどう印象を変えるか プレゼンも含めメイクをする

10	クイックチェンジメイク③	テスト、振り返り
11	卒業制作①	卒業制作用のデッサン画、メイク練習
12	卒業制作②	メイク練習
13	卒業制作③	卒業制作用のデッサン画、メイク
14	卒業制作④	撮影、振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヨガ・ピラティス I		
必修選択	選択	(学則表記)	ヨガ・ピラティス I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	これ1冊できちんとわかるヨガ、ピラティス 学校教材か個人教材にてヨガマット、フォームローラーを使用		出版社	マイナビ出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する				
到達目標	ヨガやピラティスの身体と精神に及ぼす好影響を説明できる ヨガやピラティスのポーズを実施する				
評価基準	テスト・小テスト:70% 授業態度:10% 提出物:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	村尾 映美	実務経験		○	
実務内容	サロン、スタジオにてヨガインストラクターとして勤務の経験有り。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション、授業導入 ヨガとは、ピラティスとは	ヨガの基礎知識、ピラティスの知識、ヨガとピラティスの共通点／違いについて（実技なし）
2	ヨガとは何か	ヨガのルーツ／歴史、ヨガとエクササイズの違い（実技：基本姿勢の実践）
3	ヨガの目的と効果	ヨガの目的／肉体的な効果と精神的な効果（実技：基本姿勢からのアーサナ）
4	ヨガの基本プロセス	ヨガの実践方法／3つのプロセス、ヨガの実践のポイント（実技：基本姿勢からのアーサナ）
5	ヨガの呼吸法	ヨガで呼吸が大切な理由、腹式呼吸と胸式呼吸の違いと効果（実技：呼吸を意識してポーズの実践）
6	ヨガの種類、Q&A	ヨガのいろいろな種類、ヨガへの素朴な疑問と答え（実技：ヨガフロー）
7	ヨガの瞑想	瞑想とは、瞑想のメカニズム（実技：ヨガフロー）
8	ヨガの瞑想	瞑想の効果、自分と向き合う（実技：ヨガフロー）

9	ヨガの瞑想	シャバーサナの必要性（実技：ヨガフロー、瞑想の実践）
10	チャクラについて	チャクラの場所と効果（実技：チャクラを意識したヨガ）
11	女性の身体とヨガ	月の満ち欠けに合わせる暮らし（実技：月の満ち欠けに合わせたヨガ）
12	ヨガ筆記テスト①	実技：ヨガフロー
13	ヨガのプログラミング	ヨガのプログラムを自分で考える（実技：ヨガフロー）
14	太陽礼拝	太陽礼拝とは、効果について（実技：太陽礼拝）
15	パワーヨガ	パワーヨガの歴史と効果について（実技：パワーヨガ）

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヨガ・ピラティスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヨガ・ピラティスⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	これ1冊できちんとわかるヨガ、ピラティス 学校教材か個人教材にてヨガマット、フォームローラーを使用		出版社	マイナビ出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を知る 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する方法を知る				
到達目標	美しい姿勢をアドバイスできるようになる ヨガの心身に与える影響を説明し、プログラミングが出来るようになる ピラティスの心身に与える影響を説明し、プログラミングが出来るようになる				
評価基準	テスト・小テスト:70% 授業態度:10% 提出物:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	村尾 映美	実務経験		○	
実務内容	サロン、スタジオにてヨガインストラクターとして勤務の経験有り。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ピラティスとは何か	ピラティスのルーツ/歴史、目指すところ (実技:基本姿勢について)
2	ピラティスの目的と効果、基本プロセス	ピラティスの効果、実践のポイント、呼吸法 (実技:基本姿勢からのピラティス)
3	ピラティスの種類、Q&A	ピラティスのいろいろな方法、ピラティスへの素朴な疑問と答え (実技:基本姿勢からのピラティス)
4	正しい姿勢とは	姿勢の見方、正しい姿勢と悪い姿勢 (実技:基本姿勢からのピラティス)
5	姿勢のチェック	自分の姿勢をチェック、それぞれの対処法 (実技:姿勢トラブル別改善ピラティス)
6	悪い姿勢の原因	不良姿勢の原因ともたらすトラブルについて、二足歩行が骨格に与えた影響 (実技:姿勢トラブル別改善ピラティス)

7	正しい姿勢を手に入れるには	姿勢を支える筋肉／抗重力筋と体幹のインナーマッスル（実技：インナーマッスルを意識したピラティス）
8	身体の不調	身体の不調はなぜ起こるのか（実技：身体の不調改善ピラティス）
9	筋膜について	筋膜とは何か、筋膜の特徴（実技：フォームローラーの実践）
10	筋膜について	筋膜リリースの効果と実践方法（実技：フォームローラーの実践）
11	ピラティス筆記テスト②	実技：フォームローラーの実践
12	背中メゾット	簡単エクササイズ方法の紹介（実技：背中エクササイズ）
13	部分エクササイズ	トラブルの原因／お腹、ヒップアップ、背中編（実技：集中エクササイズ／お腹、ヒップアップ、背中編）
14	部分エクササイズ	トラブルの原因／くびれ、美脚、バスタップ編（実技：集中エクササイズ／くびれ、美脚、バスタップ編）
15	課題作成	エクササイズを調べる（実技：ヨガ&ピラティス）

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	デトックス I		
必修選択	選択	(学則表記)	デトックス I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	専門医が教えるデトックス入門 ※学校教材酵素ドリンク・ハーブティー(各校判断)		出版社	幻冬舎	

科目の基礎情報②

授業のねらい	食事・科学物質・環境・ストレスなど体内に蓄積しやすい有害物質を理解し、解毒排出方法を知る				
到達目標	デトックスについて様々な知識を習得し、日常の中で実践できる				
評価基準	テスト・小テスト:70% 授業態度:10% 提出物:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ダイエット学、アロマセラピーⅢ、栄養学Ⅰ、Ⅱ、生理学Ⅰ、Ⅱ、皮膚学1、Ⅱ、概論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	原田 茉奈 他2名	実務経験	○		
実務内容	エステサロンやクリニックにてエステティシャン・カウンセラーとして勤務経験有。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 導入	担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標・評価基準について解説 各々が考える「デトックス」とは何か考える
2	導入 デトックスとは	生活習慣のチェックし自身の生活習慣を振り返る 生活の中にありふれている沢山の毒について学ぶ
3	体の毒とアンチエイジングの基礎知識	生活の中に溢れている毒を学ぶ
4	【デトックス基礎編】 避けられない毒とは 酸化 糖化 炎症 老化のサインは糖尿病になって 現れる	避けられない毒、酸化について学ぶ
5		糖化について学ぶ
6		炎症について学ぶ
7		毒の悪循環と糖尿病について学ぶ
8	・グループワーク ・個人ワーク	・化学物質、重金属、酸化・糖化・炎症について各グループごとにまとめ ・化学物質、重金属や酸化、糖化、炎症について個人ごとにまとめ

9	成績評価①	・化学物質、重金属、酸化・糖化・炎症について各グループごとに発表 ・化学物質、重金属や酸化、糖化、炎症のレポートを共有、復習する
10	老化とアンチエイジング	老化とは何か アンチエイジングとは何かを学ぶ①
11		アンチエイジングとは何か学ぶ② アンチエイジングの取り入れ方を学ぶ
12	テスト 成績評価②	理解度の確認
13	デトックスの仕組みや方法	代謝について学ぶ 各種デトックスの方法を知る(食材、食事、水、アロマ、スパイス、ハーブ、運動、生活リズムなど)
14		
15	総合授業	前期 総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	デトックスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	デトックスⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	専門医が教えるデトックス入門 ※学校教材酵素ドリンク・ハーブティー(各校判断)		出版社	幻冬舎	

科目の基礎情報②

授業のねらい	食事・科学物質・環境・ストレスなど体内に蓄積しやすい有害物質を理解し、解毒排出方法を知る				
到達目標	デトックスについて様々な知識を習得し、日常の中で実践できる				
評価基準	テスト・小テスト:70% 授業態度:10% 提出物:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ダイエット学、アロマセラピーⅢ、栄養学Ⅰ、Ⅱ、生理学Ⅰ、Ⅱ、皮膚学Ⅰ、Ⅱ、概論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	原田 茉奈 他2名	実務経験	○		
実務内容	エステサロンやクリニックにてエステティシャン・カウンセラーとして勤務経験有。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	【デトックス実践編】 今日からできるデトックス 引き算するデトックスについて	身体のデトックスの仕組みを学ぶ
2		過剰毒について学ぶ
3		デトックス効果(全身)について学ぶ
4		酸化予防について学ぶ
5		糖化予防について学ぶ
6		炎症の予防について学ぶ①
7		

8	【デトックス実践編】 今日からできるデトックス 引き算するデトックスについて	ファスティングについて学ぶ ※酵素ドリンク試飲
9		水素ケアや水素療法について学ぶ
10	まとめ	教科書の総まとめを行う
11	テスト 成績評価③	理解度の確認
12	デトックスの方法	デトックスに効果的な反射区やデトックス技術を知る
13		各種デトックスの方法を知る(食材、食事、水、スパイス、ハーブ、運動、生活リズムなど) ※ハーブティー試飲
14	成績評価④	・ペアに合った具体的なデトックス方法のアドバイスをデモで発表 ・自分に合った具体的なデトックス方法のアドバイスのレポート作成
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ダイエット学 I		
必修選択	選択	(学則表記)	ダイエット学 I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ダイエット検定 1・2級テキスト		出版社	日本ダイエット健康協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る				
到達目標	健康で美しい体を維持するための方法を理解し 日本ダイエット健康協会ダイエット検定2級を取得する				
評価基準	テスト・小テスト:40% 検定取得30% 授業態度:10% 提出物:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	デトックス・生理学・栄養学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	原田 茉奈 他2名	実務経験	○		
実務内容	エステサロンやクリニックにてエステティシャン・カウンセラーとして勤務経験有。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ダイエット学 導入 ダイエットとは	ダイエット検定を取得している芸能人や有名人など紹介、検定を取ることに意義(P21～26)、自己分析 第2章 Q1～Q5について学ぶ
2	現代ダイエットの基礎知識	第3章 Q6～Q10
3	体脂肪の基礎知識	第4章 Q11～Q15
4	カロリーと栄養素とダイエット	第5章 Q16～Q20
5		第5章 Q21～Q25
6	模擬試験①	第2章～第5章 成績評価①
7	代謝とリバウンドの基礎知識	第6章 Q26～Q31
8	インスリンとGI値	第7章 Q32～Q34

9	運動とダイエット方法論	第8章 Q35～Q40
10	模擬テスト	成績評価②
11	模試解説	模擬試験の解説
12	検定前模擬試験	模擬試験と解説
13	第1章 ダイエットと栄養素	PFCバランス/ビタミンとミネラル/飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸について
14		ダイエットを促進する栄養素と食材/飲酒によって体脂肪が増えるメカニズム
15	第2章 サプリメントとダイエット	サプリメントの役割と注意点/サプリメントの効率的使用方法

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ダイエット学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ダイエット学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ダイエット検定 1・2級テキスト		出版社	日本ダイエット健康協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る				
到達目標	健康で美しい体を維持するための方法を理解し 日本ダイエット健康協会ダイエット検定2級を取得する				
評価基準	テスト・小テスト:70% 授業態度:10% 提出物:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	デトックス・生理学・栄養学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	原田 茉奈 他2名	実務経験	○		
実務内容	エステサロンやクリニックにてエステティシャン・カウンセラーとして勤務経験有。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第3章 体脂肪と肥満と疾病リスク	メタボリックシンドロームの定義/ 特定検診・保健指導について 内蔵脂肪の悪玉構造/ 肥満の種類・定義と疾病リスク ～ 褐色脂肪細胞
2	第4章 GI値と内分泌系の基礎	GI値の定義～同化・異化のシステムコントロール
3	第5章 神経と食欲とダイエット	ダイエットと自立神経～食欲との付き合い方
4	第6章 運動と筋肉と代謝	運動効果の基本～誰でもできるウォーキング
5		筋肉トレーニングと基礎代謝の増加～DITエネルギー消費量比較
6	模擬試験	成績評価③
7	模試解説	模擬試験の解説
8	第6章 運動と筋肉と代謝(補足)	運動実践

9	総合まとめ	1級・2級検定内容の振り返り
10	自分に合ったダイエット方法	今までの学びから卒業までの目標を立ててダイエットプランを作成
11	自分に合ったダイエット方法	ダイエットプランを作成し発表する/食事ノートの作成
12	流行ダイエット	現在の流行のダイエットを研究する
13	相手に合ったダイエット方法を提案し カウンセリングする	ダイエットプランを立て提案する
14	相手に合ったダイエット方法を提案し カウンセリングする	ダイエットプランを立て提案する
15	総合授業	総合まとめを行う

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けⅡ—H		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅡ—H		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	教本・ゆかた本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも(モスリン(4点))長襦袢(半えり付)・和装スリッパ(下着)・クリップ(2本セット)足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けに関する知識・応用技術を身につける				
到達目標	着付けに関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。技術の習得目安として、・着付け2級(6月強制受験 免許任意)を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験:40% テスト:30% 授業態度:30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会の きもの着付け資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方1	授業の流れ、到達目標についての説明、考査票の記入、補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
2	振袖の着せ方2	長襦袢の着せ方、振袖の着せ方を学び実践する
3	振袖の着せ方3	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する

4	振袖の着せ方4	ふくら雀の結び方について学び実践する
5	振袖の着せ方5	振袖着付を仕上げる(検定対策)
6	振袖の着せ方6	振袖着付を仕上げる(検定対策)
7	振袖の着せ方7	振袖着付を仕上げる(検定対策)
8	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
9	検定試験	きもの着付2級検定試験を実施する
10	座学	着物のTPO(プリント③④)を学ぶ
11	浴衣の着方	浴衣の着方(自装)と半幅帯バリエーションを学び実践する
12	留袖の着せ方1	留袖の着せ方を学び実践する
13	留袖の着せ方2	留袖の着せ方、二重太鼓の結び方を学び実践する
14	留袖の着せ方3	留袖の着せ方、二重太鼓を仕上げる
15	総合学習	留袖の着せ方(仕上げ)と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けⅢ－H		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅢ－H		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	教本・ゆかた本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも(モスリン(4点))長襦袢(半えり付)・和装スリッパ(下着)・クリップ(2本セット)足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けに関する知識・応用技術を身につける				
到達目標	着付けに関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。技術の習得目安として、着付け2級(6月強制受験 免許任意)を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験:40% テスト:30% 授業態度:30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会の きもの着付け資格				
関連科目					
備考					
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自装(名古屋帯)1	小紋の着方(準備・支度・コーディネート)を学び実践する
2	自装(名古屋帯)2	小紋の着方を学び実践する
3	自装(名古屋帯)3	小紋の着方を学び実践する

4	自装(名古屋帯)4	お太鼓結びを学び実践する
5	自装(名古屋帯)5	お太鼓結びを学び実践する
6	自装(名古屋帯)6	小紋にお太鼓結びを仕上げる
7	自装(名古屋帯)7	小紋にお太鼓結びを仕上げる
8	実技テスト	自装の確認テスト
9	自装(袋帯)1	二重太鼓の結び方を学び実践する
10	自装(袋帯)2	訪問着に二重太鼓を仕上げる
11	紋服	紋服について、紋服・袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
12	女袴	女袴について、女袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
13	花嫁着装体験	花嫁着装体験
14	卒業制作	卒業制作の準備・練習
15	総合学習	総まとめとして、卒業制作を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ウォーキングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ウォーキングⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	モデルとしての意識を持ち、今の自分（体型や個性）を自覚し、美しいウォーキングの技術を学びながら、クラスのレベルを上げる。				
到達目標	モデルに必要な基礎筋肉や中心軸を鍛えながら骨格を整え全身を引き締め、ウォーキングの基礎を身につける。				
評価基準	テスト：70% 小テスト：15% 授業態度：15%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ウォーキング総復習	1年次の復習、キャットウォーキング（椅子使用）
2	ハイヒールウォーキング基本	基礎、フルターン、ハーフターン
3	ハイヒールウォーキング基本	基礎とターンのバリエーション
4	ハイヒールウォーキング基本	ハーフターンを入れた基本の一往復
5	ブライダルウォーキング	手の動き
6	ブライダルウォーキング	S字、涙字の動き
7	ストールの使い方	ストール2種類の使いこなし
8	ストールの使い方	ストール2種類の使いこなし

9	小テスト	今までどのくらい理解し出来るかの確認
10	ブライダルウォーキング	ドレス着用
11	ブライダルウォーキング	ドレス着用
12	ショーの基本	出はけ（3種類）含めた一往復、ショーの動き
13	ショーの基本	出はけ（3種類）含めたショー1、5の動き
14	テスト	プリント配布
15	総合学習	プリント配布

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ウォーキングⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ウォーキングⅢ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	モデルとしての意識を持ち、今の自分（体型や個性）を自覚し、美しいウォーキングの技術を学びながら、クラスのレベルを上げる。				
到達目標	モデルに必要な基礎筋肉や中心軸を鍛えながら骨格を整え全身を引き締め、ウォーキングの基礎を身につける。				
評価基準	テスト：70% 小テスト：15% 授業態度：15%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ウォーキング総復習	前期の復習
2	ファッションショー構成	ペアのフォーメーション 1. 5レッスン
3	ファッションショー構成	ペアのフォーメーション 横振り L字の動き
4	ファッションショー構成	ポージング応用
5	ファッションショー構成	3～4人のフォーメーション
6	今までの復習	個人チェック
7	オーディション対策	オーディションでの自分の見せ方、リズムング
8	オーディション対策	実際の動き、個人チェック

9	ジャケットの使い方	ジャケットの扱い方のバリエーション
10	ジャケットの使い方	ジャケットの使いこなしとフォーメーション
11	ジャケットの使い方	個人チェック、動画チェック
12	今までの復習	ファッションショー構成とジャケット使の使い方
13	テスト課題にもとづき授業	プリント配布
14	テスト	プリント配布
15	総合学習	各自のテーマに合わせたウォーキング

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ポージングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ポージングⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次で学んだ知識を実際に身体を使い色んなシチュエーションを想定してポーズ表現していく。				
到達目標	プロモデルとして通用するよう技術を身に付ける。事務所所属をし積極的に活動してもらう。				
評価基準	テスト：40% 小テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次の復習①	基本ポージング復習(1年次に学んだことをグループ分けして教え合う)
2	ポージングアレンジ	基本立ちポージングでレパートリーについて
3	ポージングアレンジ	床に座ってのポージング・靴脱いでも可能・下着注意
4	ポージング	座ってでのポージング
5	ポージング	複数でのポージングについて
6	ポージング	物をつかってでのポージング
7	ポージング	上着を着た状態でのポージング
8	ポージング	物をつかってでのポージング

9	小テスト	小テスト（基本・バック・着物・小物）
10	Show時のポージング (TOP・途中)	レパトリー・カウント・服の見せ方・目配り
11	Showの時のポージング (出ハケ・バッグ有り)	カウント・ターン・ため
12	Showの時のポージング (出ハケ・バッグ有り)	バック使用してのウォーキング～ポージング
13	テスト課題発表	ウォーキング～ポージングのやり方・魅せ方
14	前期テスト	テスト
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ポージングⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ポージングⅢ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次で学んだ知識を実際に身体を使い色んなシチュエーションを想定してポーズ表現していく。				
到達目標	プロモデルとして通用するよう技術を身に付ける。事務所所属をし積極的に活動してもらう。				
評価基準	テスト：40% 小テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の復習	前期行った内容の復習
2	基本ポージング	ポージングのレパトリーについて
3	基本ポージング	アクセサリー・ジュエリーの扱い方・見せ方・指先の注意点
4	基本ポージング	靴、ヒールの見せ方について
5	フォーメーション(1人)	フォーメーションについて
6	フォーメーション(複数形)	フォーメーションについて
7	フォーメーション(生徒考案)	フォーメーションについて
8	巻物を使用したShow形式ポージング	ストール・マフラーを使用したShowでの扱い方について

9	小テスト	小テスト（基本・バック・着物・小物）
10	モデルオーデイション対策①	各箇所のポージング&ターンを決めてもらう
11	モデルオーデイション対策②	指示したフォーメーションをウォーキング&ポージングしてもらう
12	モデルオーデイション対策③	当日の衣装(短パン&白T)を着用し最終チェック グループ分け発表内容考案
13	フォーメーション・テスト課題 発表	グループごとに発表/テストの課題・評価項目発表
14	テスト	テスト
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボイストレーニングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボイストレーニングⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	話し方が与える第一印象の重要性を理解し、印象良く話す為に基礎知識を身に付けさせる				
到達目標	専門知識、用語まで理解をさせ印象の良い話し方を習得させる				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	発声について	フレージングについて
2	発声について	アクセントについて
3	発声について	強弱について
4	発声について	高低について
5	発声について	スピードについて
6	原稿を読む	原稿について
7	原稿を読む	原稿について
8	原稿を読む	原稿について

9	原稿を読む	原稿について
10	原稿を読む	原稿について
11	フリートーク	フリートークについて
12	フリートーク	フリートークについて
13	フリートーク	フリートークについて
14	テスト	テスト
15	総合学習	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボイストレーニングⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボイストレーニングⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	話し方が与える第一印象の重要性を理解し、印象良く話す為に基礎知識を身に付けさせる				
到達目標	専門知識、用語まで理解をさせ印象の良い話し方を習得させる				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	タイムを取る	タイム設定があるときのトークについて
2	カメラを意識した話し方	カメラがあるときの話し方について
3	カメラを意識した話し方	カメラがあるときの話し方について
4	カメラを意識した話し方	カメラがあるときの話し方について
5	オーディションにむけて	オーディション対策について
6	オーディションにむけて	オーディション対策について
7	オーディションにむけて	オーディション対策について

8	オーディションにむけて	オーディション対策について
9	オーディションにむけて	オーディション対策について
10	ボイスサンプルについて	ボイスサンプルについて
11	ボイスサンプルについて	ボイスサンプルについて（作成、録音）
12	ボイスサンプルについて	ボイスサンプルについて（作成、録音）
13	ボイスサンプルについて	ボイスサンプルについて（作成、録音）
14	テスト	テスト
15	総合学習	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	演技Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	演技Ⅱ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	脚本（現場）において自分やまわりの状況を把握し、役作りをして役の感情に伝えられるようにする。				
到達目標	己を知り、自己解放から役を作り、役に応じた声や話し方、動作（仕草）で感情を伝える				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	演技について、基本的な学習の説明
2	演技基礎Ⅱ①	発声・滑舌Ⅱ「外郎売」
3	演技基礎Ⅱ②	「外郎売」から
4	演技基礎Ⅱ③	「外郎売」から
5	演技基礎Ⅱ④	「外郎売」から
6	演技基礎Ⅱ⑤	「外郎売」から
7	演技基礎Ⅱ⑥	「外郎売」から
8	演技基礎Ⅱ⑦	落語「貧乏神」から

9	演技基礎Ⅱ⑧	落語「貧乏神」から
10	演技基礎Ⅱ⑨	落語「貧乏神」から
11	演技基礎Ⅱ⑩	落語「貧乏神」から
12	演技基礎Ⅱ⑪	落語「貧乏神」から
13	演技基礎Ⅱ⑫	落語「貧乏神」から
14	テスト	テスト

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	演技Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	演技Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	脚本（現場）において自分やまわりの状況を把握し、役作りをして役の感情に伝えられるようにする。				
到達目標	己を知り、自己解放から役を作り、役に応じた声や話し方、動作（仕草）で感情を伝える				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	総合学習	振り返り
2	演技実践	舞台台本を基に役柄、状況設定の認識
3	演技実践	舞台台本を基に役柄、状況設定の認識
4	演技実践	「さとうきび畑の唄」のメイン二人の芝居で複雑な女性心理を演ずる
5	演技実践	「さとうきび畑の唄」のメイン二人の芝居で複雑な女性心理を演ずる
6	演技実践	アンサンブルを含め全員での芝居作り
7	演技実践	アンサンブルを含め全員での芝居作り
8	演技実践	アンサンブルを含め全員での芝居作り

9	自然な演技力	その時代背景をしっかりと理解し、一演目を子供役、教頭役を含め全員での芝居作りをする。
10	自然な演技力	
11	自然な演技力	
12	自然な演技力	
13	自然な演技力	
14	試験題材	テスト題材の発表、練習
15	テスト	テスト
16	総合学習	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	栄養管理Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	栄養管理Ⅱ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	栄養学の基礎知識を理解し、健康と栄養・サプリメント・食品添加物についてアドバイスができる				
到達目標	テスト40%・小テスト30%・授業態度30%				
評価基準	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
認定条件	ダイエット検定2級（任意）				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	ダイエット検定の魅力と将来の必要性
2	ダイエットとは	ダイエットの本質について
3	現代ダイエットの基礎知識	メタボリックシンドロームについて
4	体脂肪の基礎	脂肪の特徴や働きについて
5	カロリーと栄養素とダイエット	栄養素の働きについて
6		カロリーを知り体重のコントロールができるようになる

7	代謝とリバウンドの基礎知識	代謝とリバウンドの知識について
8	インスリンとGI値	インスリンの働きとGI値の関係性
9	運動とダイエット方法論	運動によりカロリー消費について
10	模擬テスト	成績評価テスト
11	第1章 ダイエットと栄養素	栄養素とその働きを学び健康的に体重コントロールができる
12		
13	第2章 サプリメントとダイエット	サプリメントの役割や働きを学ぶ
14	第3章 体脂肪と肥満と疾病のリスク	脂肪の役割やリスクについて学ぶ
15	第4章 GI値と内分泌系の基礎	GI値の食事選びとホルモンと体重コントロールの関係を学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	栄養管理Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	栄養管理Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	栄養学の基礎知識を理解し、健康と栄養・サプリメント・食品添加物についてアドバイスができる				
到達目標	テスト40%・小テスト30%・授業態度30%				
評価基準	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
認定条件	ダイエット検定2級（任意）				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第5章 神経と食欲とダイエット	ダイエットと自立神経～食欲との付き合い方
2	第6章 運動と筋肉と代謝	運動効果の基本～誰でもできるウォーキング
3		筋力トレーニングと基礎代謝の増加～DTIエネルギー消費量比較
4	模擬試験	成績評価
5	総合まとめ	検定2級、1級の振り返り

6	総合まとめと実践	水ぶとりに関する栄養素と内容のグループディスカッションと発表
7	総合まとめと実践	油に関する栄養素と内容のグループディスカッションと発表
8	総合まとめと実践	三大栄養素と基礎食品群の内容のグループディスカッションと発表
9	総合まとめと実践	栄養バランスとカロリーに関する内容のグループディスカッションと発表
10	総合まとめと実践	代謝に関する栄養と運動のグループディスカッションと発表
11	総合まとめと実践	GI値とインスリンに関するグループディスカッションと発表
12	総合まとめと実践	カロリー計算と栄養素のグループディスカッションと発表
13	総合まとめと実践	低GI値とカロリーに関するグループディスカッションと発表
14	総合まとめと実践	神経とダイエットに関するグループディスカッションと発表
15	総合的学習	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	インターナショナルコミュニケーションⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターナショナルコミュニケーションⅠ		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	コレクションや海外でのオーディションや仕事をしていく中で自らの表現やコミュニケーションをとれるようになるねらい				
到達目標	英語を使ってのオーディションを行い、自己紹介や自己アピールを行えるようになる。また、英語を使っての簡単な会話ができるようになる。				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介、導入	授業ルール、意味合い、達成目標などを共有する
2	簡単な英語レベルチェック	自己紹介、その他自己のレベルを感じさせる&通じるか通じないかの確認
3	会話力(初級)	A-Zまでの発音、筆記確認
4	会話力(初級)	住所の書き方など
5	会話力(初級)	文章(会話)の成り立ち基本
6	会話力(初級)	文章実践
7	会話力(初級)	数字等必要単語の確認①
8	会話力(初級)	数字等必要単語の確認②
9	会話力(初級)	まずは簡単な表現や会話にふれる。

10	会話力（初級）	まずは簡単な表現や会話にふれる。
11	会話力（中級）	自分の事を英語を使って紹介、アピールをするための素材や単語を集め文章。
12	会話力（中級）	自分の事を英語を使って紹介、アピールをするための素材や単語を集め文章発音確認
13	会話力（中級）	テスト対策を行う
14	会話力（中級）	テスト
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	インターナショナルコミュニケーションⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターナショナルコミュニケーションⅡ		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	コレクションや海外でのオーディションや仕事をしていく中で自らの表現やコミュニケーションをとれるようになるねらい				
到達目標	英語を使ってのオーディションを行い、自己紹介や自己アピールを行えるようになる。また、英語を使っての簡単な会話ができるようになる。				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	コミュニケーション力	夏休み宿題発表&後期からのルール説明
2	コミュニケーション力	リスニングのポイント
3	コミュニケーション力	海外でコミュニケーション法
4	コミュニケーション力	間違いやすい単語、面白単語、略語、文章①
5	コミュニケーション力	間違いやすい単語、面白単語、略語、文章③
6	コミュニケーション力	間違いやすい単語、面白単語、略語、文章②
7	コミュニケーション力	英語を使用しての質疑応答にこたえられるように実践①
8	コミュニケーション力	英語を使用しての質疑応答にこたえられるように実践②

9	コミュニケーション力	英語を使用しての質疑応答にこたえられるように実践③
10	コミュニケーション力	英語を使用しての質疑応答にこたえられるように実践④
11	コミュニケーション力	英語での携帯、PCなどの書き方
12	コミュニケーション力	オーディション形式での練習をする
13	テスト対策	テスト対策を行う
14	テスト	テスト
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボディエクササイズⅡ			
必修選択	選択	(学則表記)	ボディエクササイズⅡ			
開講			単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科		1	30
使用教材	ヨガマット、ソフトボール、テニスボール			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	エクササイズの復習、応用、健康な食事の摂り方の習慣付けと美しいメリハリのある身体作り				
到達目標	授業を通じそれぞれが目標とする身体作りの達成				
評価基準	テスト：40% 小テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	現状を知る / 目標の再設定	before写真、計測、目標設定 コンビネーションエクササイズ全身
2	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
3	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
4	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
5	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
6	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
7	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
8	計測 (小テスト)	コンビネーションエクササイズ全身 小テスト

9	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
10	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
11	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
12	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
13	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
14	目標達成確認(テスト)	1、計測 (after写真撮影) 2、コンビネーションエクササイズ 全身
15	総合学習	1、総まとめを行う 2、ドラウタビリティ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボディエクササイズⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディエクササイズⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ヨガマット、ソフトボール、テニスボール		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	エクササイズの復習、応用、健康な食事の摂り方の習慣付けと美しいメリハリのある身体作り				
到達目標	授業を通じそれぞれが目標とする身体作りの達成				
評価基準	テスト：40% 小テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	現状を知る / 目標の再設定	before写真、計測、目標設定 コンビネーションエクササイズ全身
2	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
3	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
4	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
5	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
6	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
7	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
8	計測 (小テスト)	1、計測 (after写真撮影) 2、コンビネーションエクササイズ 全身

9	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
10	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
11	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
12	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
13	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
14	目標達成確認(テスト)	1、計測 (after写真撮影) 2、コンビネーションエクササイズ
15	総合学習	1、総まとめを行う 2、ドラウタビリティ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ダンスⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ダンスⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分の個性を認識し、自分らしいポージングや服の見せ方、表情や表現力の幅を広げる。				
到達目標	目指すモデル像やタレント像の設定をすること。自分らしく表現・ポージングが出来るようになること。				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	撮影Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	授業を行うにあたり、決まりやルールの確認を行う。また自己紹介などを行う
2	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養う
3	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養う
4	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養う
5	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養う
6	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養う
7	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
8	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする

9	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
10	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
11	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
12	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
13	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
14	テスト	テスト
15	総合学習	試験振り返りと前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ダンスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ダンスⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分の個性を認識し、自分らしいポージングや服の見せ方、表情や表現力の幅を広げる。				
到達目標	目指すモデル像やタレント像の設定をすること。自分らしく表現・ポージングが出来るようになること。				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	撮影Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
2	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
3	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
4	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
5	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
6	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
7	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
8	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする

9	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
10	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
11	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
12	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
13	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
14	テスト	テスト
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	セルフプロデュースⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	セルフプロデュースⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	世界基準の美を創る ビューティメソッド55		出版社	ポプラ社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	芸能の世界での理想と現実の違い。それらを認識させる為に、根本的な一人一人の強みと弱みを浮き彫りにして作業を中心に展開する授業。				
到達目標	自分自身を理解し、どのようにこの業界を生きていくかを見つけ出させる事。				
評価基準	テスト40%、授業態度30%、小テスト30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己確認ゲーム	特徴を知るゲーム
2	確認&面談①	手紙を書く&面談
3	外見的売りを確認 客観視&面談②	自分自身の外見的売りについて
4	PR法 (ハーバード大学Method)	PR法について
5	PR法 (ハーバード大学Method)	PR法について
6	セルフヒストリー①	個性について
7	セルフヒストリー②	自分の"軸"について
8	ノンバーバルコミュニケーション ①	言葉を使わないコミュニケーションとは?

9	ノンバーバルコミュニケーション ②	インタビュー実践
10	ノンバーバルコミュニケーション ③	インタビュー実践
11	目的を達成する方法①	目的の捉え方について
12	目的達成する方法②	目的の捉え方について
13	目的達成する方法③	目的の捉え方について 実践
14	テスト	
15	総合学習	夏休みに向けての目標/Keep their mindについて

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	セルフプロデュースⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	セルフプロデュースⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	世界基準の美を創る ビューティメソッド55		出版社	ポプラ社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	芸能の世界での理想と現実の違い。それらを認識させる為に、根本的な一人一人の強みと弱みを浮き彫りにして作業を中心に展開する授業。				
到達目標	自分自身を理解し、どのようにこの業界を生きていくかを見つけ出させる事。				
評価基準	テスト40%、授業態度30%、小テスト30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	夏休み宿題発表	目標について
2	目的を達成する方法④	夏休みの目的達成が出来なかった理由を具体的に細かくマイクログスコープで見えていく
3	PR法Ⅲ	PR法について
4	PR法Ⅲ	PR実践
5	Audition対策①	Auditionに向かい自分ほどの業界を目指すか、何を目的に頑張るかをクリアにする
6	Audition対策②	Audition対策について
7	Audition対策③	Audition対策について
8	Audition対策/反省会	Audition対策について
9	自分の価値観を知る①	Audition対策について

10	自分の価値観を知る②	Audition終了後、みんなで何を感じたか何を得られたか反省会
11	自分の価値観を知る③	自分の価値観について
12	ifの世界①	人生選択法
13	ifの世界②	人生選択法
14	テスト	テスト
15	総合授業	これからの人生へ向けて

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	パーソナルコーディネートⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルコーディネートⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	カラーチャート		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	外見を創り上げる基本要素すべてを網羅する授業。フェイスシェイプ・ボディプロポーションを生かしていく技術を個人レベルに落とし込んで学んでいく。TPOに合わせ戦略的に外見を味方につけられるよう演出能力を創り上げる。				
到達目標	様々なオーディションにて、確実に結果を手に入れられるよう外見を整えていく。				
評価基準	提出物30%、 テスト40%、 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	外見の序章	外見を創る3つの柱について
2	パーソナルカラー	パーソナルカラーについて
3	パーソナルフェイスシェイプ①	フェイスシェイプ、メイク、そしてヘアスタイルの重要性について
4	パーソナルフェイスシェイプ②	
5	パーソナルフェイスシェイプ③	
6	パーソナルプロポーション①	自分のプロポーションを知り、自分自身を美しく魅せる科学的理論
7	パーソナルプロポーション② &スタイリストテクニック	プロポーション復習&スタイリストテクニック
8	パーソナルプロポーション③	等身大の上下によるプロポーション変化、カバーする方法

9	ファッションスタイル①	国際レベル7ファッションスタイルを説明
10	ファッションスタイル②	国際レベル8ファッションスタイルを説明
11	ファッションスタイル③	ファッションスタイルの自己診断&結果
12	ファッションスタイル④	小物による変化
13	ファッションスタイル⑤	自分軸=ファッションスタイルが分かった後のコーディネート法
14	テスト	今まで学んできたカラーやフェイスシェイプ、プロポーション、ファッションスタイルなどを理解できているか確認
15	総合学習	総まとめを行う/夏休み宿題

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	パーソナルコーディネートⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルコーディネートⅢ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	カラーチャート	出版社			

科目の基礎情報②

授業のねらい	外見を創り上げる基本要素すべてを網羅する授業。フェイスシェイプ・ボディプロポーションを生かしていく技術を個人レベルに落とし込んで学んでいく。TPOに合わせ戦略的に外見を味方につけられるよう演出能力を創り上げる。				
到達目標	様々なオーディションにて、確実に結果を手に入れられるよう外見を整えていく。				
評価基準	提出物30%、 テスト40%、 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	夏休み宿題発表	実際にやってきた宿題をシェア&ディスカッション
2	ファッションスタイルアドバンス	学校にあるアイテムを使いつつスタイリスト&モデルに分けて実践
3	TPOによる変化	TPOに合わせて
4	Audition対策序章	Auditionに向かい自分ほどの業界を目指すか、何を目的に頑張るかをクリアにする
5	Audition対策①	Audition対策①
6	Audition対策②	Audition対策②
7	Audition対策③	Audition対策③
8	Audition対策④	Audition対策④
9	交換会①	3つのパイルについて

10	交換会②	3つのパイルについて
11	交換会③	3つのパイルについて
12	コーディネート発表①	コーディネートアイテムとして使いTPOに合わせて
13	コーディネート発表②	コーディネートアイテムとして使いTPOに合わせて
14	テスト	テストを行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	撮影Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	撮影Ⅱ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科		60
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分の個性を認識し、自分らしいポージングや服の見せ方、表情や表現力の幅を広げる。				
到達目標	目指すモデル像やタレント像の設定をすること。自分らしく表現・ポージングが出来るようになること。				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	撮影Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介とオリエンテーション	各自自己紹介と授業ルールの共有
2	カウンセリングと目標設定	前週のアンケートをもとにカウンセリング
3	スタジオ撮影	テーマフリー撮影
4	ロケ撮影	スタジオ以外の屋内や屋外で撮影
5	写真を選ぶ、プリントする	写真の選び方、ブック製作のためのPC、プリンターの使い方を学ぶ。
6	スタジオ撮影 宣材写真	宣材写真（全身・バストアップ）の撮影
7	スタジオ撮影	テーマ"クール"で各自の個性を活かした撮影をする。
8	スタジオ撮影	テーマ"マニッシュ（男性的）"で各自の個性を活かした撮影をする。

9	スタジオ撮影 宣材写真	宣材写真（全身・バストアップ）の撮影
10	スタジオ撮影	テーマ"ポップ"で各自の個性を活かした撮影をする。
11	スタジオ撮影	
12	小テスト プリントの仕方	ブック製作のためのPC、プリンターの使い方の習得レベルを試験する。
13	スタジオ撮影 表情撮影	"顔や目の表情"をテーマにバストアップの撮影をする。
14	試験 スタジオ撮影	撮影試験
15	総合学習	試験振り返りと前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	撮影Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	撮影Ⅲ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分の個性を認識し、自分らしいポージングや服の見せ方、表情や表現力の幅を広げる。				
到達目標	目指すモデル像やタレント像の設定をすること。自分らしく表現・ポージングが出来るようになること。				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	撮影Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	スタジオ撮影	テーマ"ナチュラル"で各自の個性を活かした撮影をする。
2	ロケ撮影	スタジオ以外の屋内や屋外で撮影
3	ロケ撮影	
4	スタジオ撮影	テーマ"キュート"で各自の個性を活かした撮影をする。
5	スタジオ撮影 宣材写真	各自の個性に合わせたコンポジット写真を撮る。
6	スタジオ撮影 宣材写真	
7	写真を選ぶ、プリントする	写真の選び方、ブック製作のためのPC、プリンターの使い方を学ぶ。
8	ブックにまとめる	ブックを分析し、カウンセリングする。

9	スタジオ撮影	テーマ"セクシー"で各自の個性を活かした撮影をする。
10	スタジオ撮影	身体の"動き"を活かした撮影をする。
11	スタジオ撮影	テーマ"マニッシュ（男性的）"で撮影をする。
12	スタジオ撮影 表情撮影	"顔や目の表情"をテーマにバストアップの撮影をする。
13	小テスト	ブック製作のためのPC、プリンターの使い方の習得レベルを試験する。
14	試験	撮影試験
15	総合学習	試験振り返りと年間振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	メンタリティーメイキングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	メンタリティーメイキングⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	自分を大きく見せる話し方 コミュニケーション技法		出版社	We Net ウイネット	

科目の基礎情報②

授業のねらい	モデル（芸能界にむけて）のメンタルの確立とトータルピーアールのプロを目指す				
到達目標	ONLY ONEの素質を自らがつかみ あらゆるピーアールテクニックを身につける				
評価基準	テスト：40% 小テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	2年				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自分プロデュース ①	一年復習と今後のディレクション
2	自分プロデュース ①	一年復習と今後のディレクション
3	カメラ・アイ	カメラ・アイについて
4	自分（心）と対話	マインドコントロールについて
5	自分プロデュース ②	自分の将来について
6	自分プロデュース ②	メンタルと外見の関係性とメンタルトレーニング実践
7	ギャップ	ギャップについて
8	ギャップ攻略法とコンプレックス	ギャップ攻略法実践

9	アサーション①	意識改革 & 美意識トレーニング実践
10	アサーション②	ネガティブシンキング & ポジティブシンキングを考える
11	アサーション③	柔軟な耳と脳内改革で内面、外面を美表現できる
12	自分プロデュース ③	これまでの知識を振り返り自己PRレベルアップ
13	テスト：合同オーディション	合同模擬オーディション実施
14	テスト振り返り	オーディション結果を振り返り、個々実力の再確認と具体的な改善点を認知する
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	メンタリティーメイキングⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	メンタリティーメイキングⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	自分を大きく見せる話し方 コミュニケーション技法		出版社	We Net ウイネット	

科目の基礎情報②

授業のねらい	モデル（芸能界にむけて）のメンタルの確立とトータルピーアールのプロを目指す				
到達目標	ONLY ONEの素質を自らがつかみ あらゆるピーアールテクニックを身につける				
評価基準	テスト：40% 小テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	2年				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の復習	前期の振り返り
2	自己アプローチ強化とプレゼンテーション	オーディション形式にて自己アプローチと自己表現の徹底
3	自己アプローチ強化とプレゼンテーション	オーディション形式にて自己アプローチと自己表現の徹底
4	自己アプローチ強化とプレゼンテーション	オーディション形式にて自己アプローチと自己表現の徹底
5	自己アプローチ強化とプレゼンテーション	オーディション形式にて自己アプローチと自己表現の徹底
6	自己アプローチと自己表現	自己アプローチと自己表現の個別レベルアップ指導、特技トレーニング
7	自己アプローチと自己表現	自己アプローチと自己表現の個別レベルアップ指導、特技トレーニング
8	自己アプローチと自己表現	自己アプローチと自己表現の個別レベルアップ指導、特技トレーニング

9	自己アプローチと自己表現	自己アプローチと自己表現の個別レベルアップ指導、特技トレーニング
10	(合同)模擬オーディション①	モデルオーディションに向けてトレーニング
11	振り返り	方向性と課題を決定
12	(合同)模擬オーディション②	モデルオーディションに向けて最終チェック
13	振り返り最終チェック	モデルオーディションに向けて総仕上げ
14	テスト	テスト
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ－Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ－Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物事の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ－Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ－Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物事の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ－Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ－Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物事の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ－Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ－Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物事の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ－Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ－Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物事の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ－Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ－Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物事の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ－Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ－Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物事の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ－Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ－Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物事の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					